

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

シスタチンCによる推算GFR値の 報告開始について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年日本腎臓学会より発表されましたCKD診療ガイド2012においてシスタチンCによる推算GFRが紹介されました。

血清クレアチニン濃度による推算GFRは筋肉量などの影響を受けることがあり、評価が困難なことがあります。シスタチンCによるものは、そのような影響を受けにくいとされています。

これを受け、本推算GFR値の報告を開始しますので、取り急ぎご案内する次第です。

宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [20035] 推算GFRcys

受託開始日

- 平成25年4月1日(月)

推算GFRcys

推算GFRcysは、シスタチンC濃度(Cys-C)、年齢(歳)、性別から以下の推算式を用いて糸球体濾過量を推定します。

・男性の場合：

$$\text{推算GFRcys (mL/min/1.73m}^2\text{)} = (104 \times \text{Cys-C}^{-1.019} \times 0.996^{\text{年齢(歳)}}) - 8$$

・女性の場合：

$$\text{推算GFRcys (mL/min/1.73m}^2\text{)} = (104 \times \text{Cys-C}^{-1.019} \times 0.996^{\text{年齢(歳)}} \times 0.929) - 8$$

*GFRの単位中で“1.73m²”は、日本人の健常成人における平均体表面積を意味します。

*CKD(慢性腎臓病)とは、「腎臓の障害(蛋白尿など)、もしくはGFR(糸球体濾過量) 60mL/min/1.73m²未満の腎機能低下が3カ月以上持続するもの」とされます。

	ステージ	腎機能の説明	推算GFR
GFR区分 (mL/min/1.73m ²)	G1	正常または高値	≥90
	G2	正常または軽度低下	60~89
	G3a	軽度~中等度低下	45~59
	G3b	中等度~高度低下	30~44
	G4	高度低下	15~29
	G5	末期腎不全(ESKD)	<15

検査要項

項目コード	20035
検査項目名	推算GFRcys
算出方法	シスタチンC値から推算式により算出
報告単位	mL/min
基準値	90mL/min 以上
所要日数	2~3日
<p>①ご依頼の際は[09936]シスタチンCと[20035]推算GFRcysを一緒にご依頼ください。その際、患者様の「年齢」および「性別」を依頼書にご記入ください。当該検査はセット検査としての運用を行いますので、依頼書でご依頼の際は備考欄に「M69」推算GFRcysセットとご記入下さい。</p> <p>②対象者の年齢が18歳未満の場合は、推算値を報告できませんのでご容赦ください。</p> <p>③ガイドラインでの報告単位は、日本人の平均体表面積としてmL/min/1.73m²を使用しておりますが、当社ではこれを省略してmL/minとして報告いたします。</p> <p>④シスタチンCの検査費用は発生しますが、推算GFRcysの算出は無償で報告いたします。</p>	

参考文献

CKD診療ガイド2012(日本腎臓学会編)
堀尾勝, 医学のあゆみ, 243(9), 747~752, 2012.